あおい通信 第８８号

第88号 平成24年9月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話 03－3978－0919

東京江戸散歩

その四十六 雑司ヶ谷③

写真・文 七海邦夫

続・宣教師館

築地、神田、小石川と活動を展開し、まだ田園風景が広がる郊外の雑司ヶ谷に移転したのは明治四十年（一九〇七）のことで、現在の建物はこの時に建てられた。

十九世紀後半のアメリカ郊外住宅に多く用いられたシンプル様式を基調とし、細部のデザインはカーペンターゴシック様式を用いた木造二階建て。一階はマッケーレフの活動、生活ぶりを展示したコーナーと「赤い鳥」「子供之友」など雑誌の置かれた児童書コーナーで、二階は秋田雨雀や雑司ヶ谷文化人などの紹介コーナーとなっている。毎週日曜日と第三日曜が休館日。

三角寛旧宅

宣教師館から元の道に戻り左折、二股の道を右へ進むと十字路で、此処を右折して五十メートル行くと黒板塀に「雑司ヶ谷寛」と記された旧三角家が有る。現在は予約制の懐石料理店となっている。

三角寛の生涯は波乱に富んだ人生であった。大分県竹田の人で、十七歳まで仏門に有ったが、上京、朝日新聞に入り社会部で「サツ廻り」を担当した。昭和四年に板橋警察管内で起きた説教強盗の取材中に山窩の事を知って、山窩を題材にした小説を発表して売れっ子作家になり、後に「山窩社会の研究」で文学博士号を得ている。

戦時中は薬草を軍に収めて成功し、その資金をもとに戦後は映画館に乗りだして文芸坐の前身の人生座を開館、多くの文士たちも協力して大当たりする。弁天座、文芸坐そして人生座の三館を運営、ヨーロッパ映画を中心に上映し確実にファンをつかんでいった。しかし、彼の強引なやり方で労働争議が起こり、休館した後に文芸坐を残して他の二館は売却された。

晩年は夫人の死もあり失意の中、六八才で死去。文芸坐の経営を引き継いだのは婿の三浦大四郎で、多くの名画ファンに惜しまれつつ平成九年三月に閉館した。現在は新文芸坐として、元の場所で上映を続けている。

金乗院（目白不動）

銅葺きの山門に神霊山の山号が掲げられていて、左脇に「江戸長谷寺」の石標がある。正式には神霊山金乗院慈眼寺といい、真言宗豊山派の寺である。開山は永順と伝えるが、文禄三年（一五九四）に没しているのでこれ以前に創建されたのだろう。

本尊は金銅聖観音像で高さ五.五センチの秘仏、長谷寺とは奈良長谷寺の末寺で、東豊山浄滝院と号し目白不動尊の事。弘法大師作と伝わる高さ二五センチの不動明王が本尊。始めは文京区関口に有り、二代将軍秀忠の命で伽藍を建立、家光の時に目白の号を貰い、江戸五街道守護の５色不動（青、黄、赤、白、黒）の一つとして目白不動尊として庶民の信仰を集めた。戦災で焼失し金乗院に合併された。

境内には石造物が多い。不動前の倶利伽羅不動尊庚申塔は、三猿の上の剣を飲を呑まんと四肢を剣に巻きつけた龍の姿で、不動明王の法形を現わした珍しいもの。寛文六年（一六六六）の建立。鍔塚は刀剣の供養として寛政一二年（一八〇〇）に建てられた塔。このほか、不動堂の脇には七基の庚申堂や地蔵が並んでいる。

直ぐ左手に、我が国の公開図書館の祖と言われる青柳文蔵の墓がある。墓地の西北に、由井正雪と幕府転覆を謀り慶安事件を起こした首謀者の一人、丸橋忠弥の墓がある。鈴ヶ森で処刑されたが後に一族の秦武郷が安永九年（一七八〇）に墓碑を建てた。首塚は南品川の妙蓮寺にある。

（続く）

世評・時評

「見えないタスキ」

ロンドンから嬉しい知らせが届くたび、我々の心は歌い、魂が震える。選手達とはこの感動を、「ありがとう」だけでは表現出来ない感謝の念を込めて共有したいと思う。

あらゆる競技が実は目に見えない駅伝のようであろう。駅伝は〈遥より小旗のゆれの移りきて今駅伝の五位走り去る〉と謳われていて、選手もタスキも目に見える。

だが目に見えない駅伝もある。ロンドン五輪・体操男子の個人総合で内村康平選手（二三）が金メダルに輝いた。ロサンゼルス大会の具志堅幸司さん以来、二八年ぶりの快挙という。具志堅さんが手にした個人総合の金メダルもミュンヘン大会の加藤沢男さん以来、十二年ぶりであった。十年二十年の歳月をかけてタスキをつなぐ駅伝である。

競泳男子の平泳ぎは、100㍍に続いて200㍍でも北島康介選手（二九）の前人未到、同一種目3連覇の夢はかなわなかった。「すべての人に感謝しています」おのが区間を全力で、誰よりも速く駆け抜けた人の、悲壮感とは無縁のコメントがすがすがしい。

いつの日か、内村選手や北島選手から金色のタスキを受け取るのは誰だろう。

今はどこかの校庭で逆上がりの練習をしている小さな男の子かもしれない。どこかのビニールプールで水遊びをしている坊やかもしれない。

（ヨッチャン）

◆編集委員会よりお願いです

「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。担当飯島迄お申し出ください。

利用者さんの紹介コーナー

浅井　明（火）

『カイレテ　エンキュリオーパントテ』（汝ら常に主にありて喜べ）《ピリピ書　第四章四節》小生の座右の銘です。

よろしくお願いいたします。

永井　ツナ江（金）

日本舞踊はずっと好きでやっていました。

あとは民謡の原田直之さんに師事しています。何十年も続けています。コンクールなどもでました。

矢部　新助（金）

趣味は少しずつかじりました。スケート、釣り、山登り、ハイキング、ボーリング、旅行。将棋は大好きなので、お相手をお願いします。

大連の家

井関　義久

今年5月、アカシアの季節に、大連のわが家がまだあった。勉強部屋の窓から見えるアカシアが、まだあった。

辺りの殆どが高層ビルに建て替えられているのに、その一角だけ、レンガ造りの何軒かが、まだあった。

玄関に、派手なガラス玉を繋いだ長い簾（すだれ）が下がり、ゆらゆら揺れている。漢詩の一節に「水晶の簾動いて微風起こり…」と言うのがあったけれど、あれは閑静な農村。これは都会の喧騒の中。かつてのわが家は、今ラーメン屋なのだ。一杯のラーメンを求めて、まさに入ろうとした時、簾をかき分けて中から男が顔を出し、ペッと唾を吐いた。

感傷に浸ったのもそれ迄、ラーメンはまたの機会に譲って、空しく帰る。大連京劇団の名優　陽赤（ヤン・チー）さんが、市政府の援助を受けて新しく劇場を建てた。舞台より客席に贅を凝らしたシアター・レストランだ。豪華なテーブルと椅子が舞台を囲む、王侯貴族の趣味が現代の中国にあった。舞台に尻を向けて酒食にふける人々が目に浮かぶ。政府と俳優によって実現した劇場が、これだった。二階のレストランで御馳走になった。此処からは舞台に遠くて、専ら飲み食いのための部屋で、シェフの腕によりをかけた料理に舌鼓を打つ。

簾から顔を出したあの男に、ぜひ食べさせたい舌鼓を打つ。

銀座洋食物語　カツカレー事始め

横山　稔

カツカレーを考案したのは、或るプロ野球選手だと言われている。銀座のグリルスイス（三丁目5―16）には、その伝説が残っていて、選手とは、戦前から戦後にかけて現在の読売巨人軍でプレー「猛牛」のニックネームで親しまれた名二塁手、千葉茂さんである。

彼は、後楽園球場（現東京ドーム）での練習や試合の帰りに、よくグリルスイスに立ち寄って食事をしていた。

この店の創業間もない頃の話だ。千葉さんの定番はポークカツとカレーライスだったが、ある日、「カツとカレーを一つの皿に一緒に盛ってくれ。その方が食べ易い」と頼んだ。カツカレー誕生の瞬間だったとされている。

千葉さんに連れて行かれた巨人軍の選手達も、同じものを注文するようになり、初代店主は店のメニューにそれを加え今でも、「千葉さんのカツカレー（1365円）」として、グリルスイスの看板商品となっている。注文があってから揚げる豚ロースのカツは、サクサクとした食感で軟らかい。野菜と挽肉で作られたカレーは、カツに合うものをと長年に亘って工夫を凝らした結果、辿りついたものだそうだ。

その他にも、オムハヤシ・GINZAバーグ・牛ヒレのカツレツなどのメニューがある。

あおい歌壇・俳壇

麻生　伊登子

多摩川原尾花の群生たおやかに
赤トンボのせ波うつごとく
身障者を追いこして行くを責められて
しばし歩みを合せる我は

高橋　カツ

暑い中われ生み給う
たらちねの母の労苦の偲ばゆるはや
月影を仰ぎつ今宵亡き母に
語るが如く話しかけたり

相田　美代子

風鈴の音もなかなる夕べかな
晝下がりポプラ並木に蝉しぐれ
鈴の音のかすかに響く日傘かな

葵友の会　広報コーナー

8月度行事の結果

会

17日（金）バンバンにて、10名の参加。

ビーヤ　大会

22日（水）ベイブにて、12名の参加。優勝は、沼里さんでした。

9月度行事の予定

会

12日（水）西武園ホテル掬水亭にて。

会

21日（金）バンバンにて。

お国言葉めぐり

まだまだ暑い九月。ちょっと息抜きにお国言葉めぐりといきましょう。月曜日の方々にご協力頂きました。

長野県信濃町　石井みと子さん
「ずぐなし・ずぐやむ」…やる気がない事
「しょうねぇやさ」…仕方がない
「ひっちらかす」…ちらかす
「いっせき」…しょっ中
「たまげたぁー」…びっくりした
「かしゃぽい」…うっとうしい・まぶしい・手が強ばる
「ごしたい・ごしてぇやさ」…とても疲れた
「押しこぐる」…押す
「なっちょだい」…どうだい

富山県礪波市　横山稔さん
「キトキト」…新鮮・新しい

京都府宇治市　泉貞子さん
「しんどい」…疲れた

岩手県一関市　宮坂京子さん
「こわい」…疲れた

広島県江田島市　黒田みどりさん
「紙がみてた」…紙が無くなった

岡山県瀬戸内市　寺下美恵さん
「おえんわ～」…駄目な事
「ぼっけっぇ」…すごく大きい

大阪府磯城郡　斉藤重美さん
「いけず」…いじわる
「えげつない」…露骨にいやらしい

長野県上田市　西澤久さん
「じゃんぼん」…お葬式

栃木県那須郡　藤田キクヱさん
「じゃんぼ」…お葬式